



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント
コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成27年7月24日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	185,115	25.5	26,983	81.4	27,275	84.1	12,288	111.1
26年9月期第3四半期	147,452	22.6	14,874	118.2	14,818	109.0	5,822	△39.9

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 16,587百万円 (165.6%) 26年9月期第3四半期 6,245百万円 (△42.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	196.26	195.36
26年9月期第3四半期	93.28	92.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	116,108	76,092	56.8
26年9月期	100,545	63,175	54.2

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 65,898百万円 26年9月期 54,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年9月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 記念配当20円00銭

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	16.9	28,000	26.0	28,000	26.2	14,000	46.5	223.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	63,213,300 株	26年9月期	63,213,300 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	536,800 株	26年9月期	720,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	62,608,716 株	26年9月期3Q	62,412,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成27年3月末における一般世帯のスマートフォン普及率は60.6%（注1）まで拡大し、平成27年のスマートフォン広告市場は、前年比29.8%増の3,903億円（注2）、スマートフォンゲーム市場は、前年比13.3%増の7,462億円（注2）と高成長が見込まれます。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン関連事業に経営資源を集中し、当第3四半期連結累計期間におけるスマートフォン関連の売上高は、売上高構成比（投資育成事業の売上高を除く）の77.5%まで拡大しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は185,115百万円（前年同期比25.5%増）、営業利益は26,983百万円（前年同期比81.4%増）、経常利益は27,275百万円（前年同期比84.1%増）、四半期純利益は12,288百万円（前年同期比111.1%増）と大幅な増収増益となりました。

出所（注1）内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査（平成27年3月実施調査結果）」

（注2）CyberZ/シード・プランニング「スマートフォン市場動向調査」及び「2015年 スマートフォン広告市場動向調査」

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①Ameba事業

「Ameba」のサービス拡充や運用・改善、構造改革等の成果により、売上高は26,405百万円（前年同期比7.2%増）、営業損益は4,607百万円の利益計上（前年同期比198.0%増）となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

ネイティブゲームが牽引し、売上高は46,737百万円（前年同期比26.3%増）、営業損益は10,611百万円の利益計上（前年同期比81.6%増）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

スマートフォン広告の順調な販売等により、売上高は103,513百万円（前年同期比24.8%増）、営業損益は9,560百万円の利益計上（前年同期比29.2%増）となりました。

④メディアその他事業

メディアその他事業には、映像・音楽関連等のエンターテインメント事業、(株)シーエー・モバイル、(株)ウエディングパーク等のメディア事業が属しております。

エンターテインメント事業等の立ち上げに伴う先行投資により、売上高は13,910百万円（前年同期比25.8%増）、営業損益は1,731百万円の損失計上（前年同期間352百万円の利益計上）となりました。

⑤投資育成事業

投資育成事業には当社のコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした国内及びアジア圏等の有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。

保有株式の売却等により、売上高は6,727百万円（前年同期比477.9%増）、営業損益は5,018百万円の利益計上（前年同期比3,272.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は116,108百万円(前連結会計年度比15,562百万円の増加)となりました。これは、主に売上高の拡大に伴う売掛金の増加、営業投資有価証券及び投資有価証券の増加によるものであります。

負債は40,015百万円(前連結会計年度比2,645百万円の増加)となりました。これは、主に売上高や利益の拡大に伴う買掛金及び未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は76,092百万円(前連結会計年度比12,917百万円の増加)となりました。これは、主に四半期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて734百万円減少し、30,705百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは19,097百万円の増加(前年同期間は3,956百万円の増加)となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは17,730百万円の減少(前年同期間は9,148百万円の減少)となりました。これは、主に固定資産及び投資有価証券の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2,331百万円の減少(前年同期間は1,392百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月30日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,446	30,713
受取手形及び売掛金	28,807	31,055
たな卸資産	39	101
営業投資有価証券	9,517	12,179
その他	3,842	3,643
貸倒引当金	△46	△92
流動資産合計	73,605	77,600
固定資産		
有形固定資産	5,989	7,086
無形固定資産		
のれん	3,735	4,785
その他	10,604	12,975
無形固定資産合計	14,339	17,760
投資その他の資産		
その他	6,668	13,784
貸倒引当金	△58	△123
投資その他の資産合計	6,609	13,660
固定資産合計	26,939	38,507
資産合計	100,545	116,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,681	20,409
短期借入金	30	25
未払法人税等	4,604	6,063
その他	14,014	12,237
流動負債合計	36,329	38,734
固定負債		
長期借入金	—	140
勤続慰労引当金	344	437
資産除去債務	695	703
固定負債合計	1,040	1,280
負債合計	37,369	40,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	2,393	2,497
利益剰余金	44,745	53,284
自己株式	△1,522	△1,134
株主資本合計	52,819	61,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	3,528
為替換算調整勘定	301	519
その他の包括利益累計額合計	1,717	4,048
新株予約権	199	225
少数株主持分	8,439	9,969
純資産合計	63,175	76,092
負債純資産合計	100,545	116,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	147,452	185,115
売上原価	97,006	117,536
売上総利益	50,446	67,579
販売費及び一般管理費	35,572	40,595
営業利益	14,874	26,983
営業外収益		
受取利息	9	2
受取配当金	—	50
持分法による投資利益	—	46
為替差益	—	68
その他	46	176
営業外収益合計	56	343
営業外費用		
支払利息	4	2
持分法による投資損失	45	—
消費税等調整額	9	17
その他	53	32
営業外費用合計	112	51
経常利益	14,818	27,275
特別利益		
持分変動利益	168	200
その他	150	2
特別利益合計	318	203
特別損失		
減損損失	1,242	2,174
持分変動損失	1,104	—
その他	784	931
特別損失合計	3,131	3,105
税金等調整前四半期純利益	12,005	24,372
法人税、住民税及び事業税	4,748	10,119
法人税等調整額	951	127
法人税等合計	5,700	10,246
少数株主損益調整前四半期純利益	6,304	14,125
少数株主利益	482	1,837
四半期純利益	5,822	12,288

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,304	14,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	2,240
為替換算調整勘定	47	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	132
その他の包括利益合計	△59	2,461
四半期包括利益	6,245	16,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,702	14,393
少数株主に係る四半期包括利益	542	2,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,005	24,372
減価償却費	3,143	4,104
のれん償却額	305	388
減損損失	1,242	2,174
売上債権の増減額(△は増加)	△4,003	△2,416
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,948	△776
仕入債務の増減額(△は減少)	1,076	1,933
未払金の増減額(△は減少)	64	△1,514
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,007	△275
その他	1,840	△300
小計	14,734	27,691
利息及び配当金の受取額	1	52
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△10,776	△8,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,956	19,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,101	△1,798
無形固定資産の取得による支出	△6,361	△7,036
投資有価証券の取得による支出	△51	△3,621
関係会社株式の取得による支出	△142	△1,586
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 に対する前期末払分の支払による支出	—	△927
子会社の自己株式の取得による支出	—	△2,167
その他	△491	△591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,148	△17,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30	△6
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△364	△20
少数株主からの払込みによる収入	896	744
自己株式の処分による収入	407	501
配当金の支払額	△2,180	△3,749
その他	△181	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,392	△2,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,517	△734
現金及び現金同等物の期首残高	28,448	31,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,931	30,705

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	Ameba	ゲーム	インターネ ット広告	メディア その他	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	20,839	36,858	78,753	9,863	1,138	147,452	—	147,452
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,783	154	4,197	1,192	26	9,354	△9,354	—
計	24,622	37,012	82,951	11,056	1,164	156,807	△9,354	147,452
セグメント利益又は損失 (△)	1,545	5,844	7,397	352	148	15,288	△414	14,874

(注)セグメント利益の調整額△414百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Ameba」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「メディアその他」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

Ameba	596百万円
ゲーム	45百万円
インターネット広告	195百万円
メディアその他	405百万円
合計	1,242百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	Ameba	ゲーム	インターネ ット広告	メディア その他	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	21,651	46,420	97,888	12,427	6,727	185,115	—	185,115
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,754	317	5,624	1,483	—	12,179	△12,179	—
計	26,405	46,737	103,513	13,910	6,727	197,295	△12,179	185,115
セグメント利益又は損失 (△)	4,607	10,611	9,560	△1,731	5,018	28,066	△1,082	26,983

(注)セグメント利益の調整額△1,082百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的として、「ゲーム・その他メディア事業」を「ゲーム事業」及び「メディアその他事業」へと変更しております。

また、当社グループ内の事業再編に伴い、事業の実態に合わせ、従来「Ameba関連事業」に属していた(株)AMoAdを「インターネット広告事業」に、コミュニティ及びエンターテインメントに関する事業を「メディアその他事業」に移管したうえで、「Ameba関連事業」の名称を「Ameba事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Ameba」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「メディアその他」、「全社」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

Ameba	348百万円
ゲーム	1,337百万円
インターネット広告	93百万円
メディアその他	388百万円
全社	6百万円
合計	2,174百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。